

堀岡 敏喜 議員
公明党

問 人口減少を抑える政策は

答 若い世代の定住につなげる

問 本市の人口減少について、その要因をどう分析しているか。

答 企画部長 転入が転出を上回るが、出生減・死亡増による自然減が上回り、人口減少と分析。

問 市内各地域にみられる人口構造の違いをどう把握しているか。

答 学区別で、年少人口は日の出 13.9%、栄南 7.1%、生産年齢人口は日の出 66.6%、大藤 55.6%、老年人口は十四山東部 35.4%、日の出 19.5%。

問 地域ごとの人口構造の違いから、将来どのような課題が生じると認識しているか。

答 地域により子育て環境、担い手不足、医療・介護、買物・移動等が課題。

問 定住促進や子育て支援等の施策について、人口政策の観点からどのような課題があると認識しているか。

答 健康福祉部長 関係部局の連携が課題。

問 若者・子育て世代に選ばれるまちづくりについて、どのように考えているか。

答 暮らし・仕事・子育て環境の総合的な整備が重要。

問 転入を定住につなげることについて、どのように考えているか。

答 市長 転入増だけでなく、定住につなげることが重要。



問 人口減少でも持続する政策は

答 地域をつなぎ、暮らしを支える

問 人口減少・高齢化が進む地域において、市民が暮らし続けるために必要な生活機能をどのように捉えているか。

答 市民生活部長 移動手段の確保を重要な生活機能と捉える。

問 今後どのように維持していくか。

答 公共交通と福祉施策を連携し、買物支援や福祉タクシー等も活用して持続可能な移動環境を維持。

問 人口構造の変化を踏まえ、今後の地域コミュニティのあり方をどのように考えているか。

答 自治会、市民活動団体、企業等の連携を進め、「やとみっけベース」も活用し、地域の担い手を育成。

問 人口減少を可能な限り緩和する取組と、人口が減少しても地域を持続させる取組を、地域共生社会の実現に向けてどのように進めていくか。

答 人口減少の緩和と地域維持を一体的に進め、定住・移住の促進と持続可能な交通網を構築。